



地球温暖化の影響でしょうか。偏西風の蛇行が大きくなり、気候がますます極端になってきているように感じます。長期間にわたる強い寒波の影響で、連日厳しい寒さが続いています。中庭の雪は園児の腰あたりまで積もっていません。子ども達は寒さに負けず、まとめの三学期を頑張っています。



校内書き初め会

1月8日（木）、校内書き初め会が行われました。1年生は「なかよし」、3年生は「友だち」、4年生は「明るい心」、5年生は「新しい風」、6年生は「将来の夢」と、それぞれの学年にふさわしい言葉に取り組みました。子どもたちは、新しい年の抱負や目標を胸に、一画一画に思いを込めて集中して書いていました。手本を見ながら丁寧に筆を運ぶ姿からは、三学期のスタートにふさわしい、前向きな気持ちが伝わってきました。力強い文字、のびのびとした文字、大きく迫力のある文字など、どの作品にも一人ひとりの頑張りが表れており、見応えがあります。



校内かるた大会

1月9日（金）、校内かるた大会が行われました。昨年度は感染症対策のため会場を二つに分けて実施しましたが、今年度は感染状況も落ち着いていたため、多目的教室の一カ所に全員が集まり、さらに緊張感のある中での開催となりました。読み手の声に耳を澄ませ、得意な札を逃すまいと真剣な表情で札に向かう子どもたちの姿がとても印象的でした。学年が上がるにつれて覚えている札の数も増え、上の句を聞いた瞬間に下の句を探し出し、素早く札を取る姿が見られました。全員が自分の目標枚数に向かって一生懸命取り組み、仲間と競い合いながらも、お互いを認め合う姿勢が随所に見られ、心温まる素晴らしい大会となりました。



1・17集会

1月16日（木）、1.17集会を行いました。今から31年前の1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生しました。建物の倒壊や火災などにより、6,434名の方が亡くなりました。電気・水道・ガスなどのライフラインが止まり、多くの方が避難所での生活を余儀なくされ、さまざまな困難が生じました。



今回の集会では、当時、水道が止まったことでどのようなことが起きたのか、また病院ではどのような状況だったのかについて、映像を交えて話しました。水道管が各地で破損し、水が使えなくなったことで火災を消火できなかったこと、生活用水をもらいに行って生活をしていたこと、病院には多くの患者が押し寄せ、対応が追いつかず、命の選別をせざるを得なかったという厳しい現実があったことなどを伝えました。「助けたい、でも助けられない」そんな現実がありました。あの震災から学び、現在では地震に強い水道管への交換が進められています。医療現場でも、当時の経験を語り継ぎ、災害に関する知識を持ち、主体的に判断して行動できるよう心がけているそうです。震災から31年が経ち、当時を知らない人も増えてきました。命の尊さ、そして震災の教訓を語り継ぎ、備えることの大切さをこれからも伝え続けていきたいと思えます。

人権集会

1月28日（水）に人権集会がありました。6年生が人権について調べたことを発表しました。一人ひとりが偏見や思い込みをなくすることが、差別のない社会づくりにつながるという思いがよく伝わってきました。



昨年末から今年にかけて、いじめや暴力の様子を撮影した動画がSNSで拡散される事案が相次いで発生しました。そこで学校では、暴力行為やいじめの見過ごしがないよう、生活アンケートなどを通じて実態の把握に努めるとともに、文部科学省が作成したいじめ未然防止動画（YouTube）を活用し、情報モラルの指導を行っています。この動画は、ネットいじめについて考えさせられます。QRコードを掲載していますので、ぜひご家庭でもご覧ください。そして、いじめによって悲しい思いをする人をつくらないようにするために、どのような人間関係を築くことが大切か、ご家庭でも話し合っただければと思います。



いじめ未然防止動画

文科省作成 YouTube